Road to Championship!

第54回 日本少年野球選手権大会支部予選

第23回 エスエスケイ旗争奪大会

SSK

(公財)日本少年野球連盟

期　間	中学部：2023年6月3日(土)、4日(日)、10日(土)、11日（日） 予備日17日(土) 小学部：2023年6月10日(土)、予備日11日（日）
会　場	森林公園野球場、県営一宮運動公園 中京大中京高校グラウンド、プリニーの野球場 一宮市営平島球場 稲沢中央ボーイズ専用グラウンド
主　催 共　催 後　援	(公財)日本少年野球連盟 愛知県西支部 株式会社エスエスケイ 愛知県、(株)愛知銀行 （公財）日本少年野球連盟

開　　会　　式

行　　わ　　な　　い

閉　　会　　式

中学生の部　2023年6月11日（日）13時00分～　森林公園第1野球場

小学生の部　2023年6月10日（土）16時00分～　稲沢中央ボーイズ専用グラウンド

1．　役員、審判員、監督、コーチ整列

2．　選　　手　　整　　列

3．　優勝旗、賞状、メダル授与

4．　退　　場

第23回SSK旗争奪大会兼第54回日本少年野球選手権大会支部予選役員名簿

《大会会長》

愛知県西支部支部長　渡会　武則

《大会副会長》

㈱エスエスケイ名古屋支店支店長　齋木　英志

㈱エスエスケイ名古屋支店ベースボールエリアスタッフ次長　石井　敏裕

《大会運営委員長》

愛知県西支部企画運営部長　山岸　昌弘

愛知県西支部企画運営副部長　大野　工太

愛知県西支部企画運営副部長　林　透

《大会運営副委員長》

愛知県西支部行事委員長　玉置　正樹

愛知県西支部行事副委員長　澤中　渉

《大会運営委員》

愛知尾州ボーイズ代表　内藤　邦将

愛知小牧ボーイズ代表　服部　誠

尾張ボーイズ代表　高木　哲也

春日井ボーイズ代表　窪園　三郎

愛知守山ボーイズ代表　池田　一成

名古屋名東ボーイズ代表　平木　雅之

愛知江南ボーイズ代表　住藤　重光

東尾張ボーイズ代表　前島　康典

愛知長久手ボーイズ代表　小林　正俊

春日井ボーイズ（小）代表　山下　泰和

名古屋東ボーイズ（小）代表　清水　英史

東海ボーイズ（小）代表　加藤　剛司

《大会審査指導部長》

愛知県西支部審査指導部長　柴田　昭二

《大会審査指導副部長》

愛知県西審査指導副部長　林　日出夫

《大会顧問》

日本少年野球連盟名誉会長　藤田　英輝

日本少年野球連盟会長　惣田　敏和

日本少年野球連盟副会長　工藤　眞一

日本少年野球連盟専務理事　大冨　肇

日本少年野球連盟特別相談役　堀内　健

日本少年野球連盟理事中日本ブロック長　松本　行弘

日本少年野球連盟理事愛知県西支部担当　榊原　隆宏

《大会総務部長》

愛知県西支部総務部長　荒川　達哉

《大会事務局長》

愛知県西支部事務局長　中村　直人

《大会副事務局長》

愛知県西支部副事務局長　澤中　渉

《大会広報委員長》

愛知県西支部広報委員長　星野　忠啓

《大会会計部長》

愛知県西支部会計部長　尾関　学

《大会会計副部長》

愛知県西支部会計副部長　牧野　義人

《大会会計監査》

愛知県西支部会計監査　大迫　英紀

《大会審判長》

愛知県西支部審判長　山田　和雅

《大会副審判長》

愛知県西支部副審判長　林　欣吾

〃　下林　和幸

〃　木崎　勝広

《大会審判員》　愛知県西支部審判員諸氏

大 会 規 定

1・チームの登録選手は中学生の部は 11 名以上 25 名以内（ベンチ入りは 20 名以内）とする。また、小学生の部は 4 年生以上 9 名以上を含む 20 名以内とする。

2・出場選手はその大会の登録締め切り日現在、連盟へ登録済みの者に限る。

3・審査証は当年度発行のものとする。

4・オーダー表記入選手 20 名以内およびチーム責任者、登録された監督、コーチ、マネージャーのみベンチに入ることができる。但し各種登録証(チーム責任者、監督、コーチ)および審査証(選手)を携帯していない場合は、いかなる理由でもベンチには入れないが、チーム責任者、監督、コーチは、試合開始までに間にあった場合は、審査の上ベンチ入りできる。また、選手は試合終了までに間にあった場合は、審査の上、その時点でベンチ入りできる。なお、チーム責任者は必ずベンチに入らなければならない。チーム責任者が不在の場合は試合できない。

5・組み合わせの若番号が 1 塁側のベンチ、後番号が 3 塁側のベンチに入る。但し、チーム責任者、監督、コーチは登録証を携帯すること。

6・監督(背番号 60)、コーチ(背番号 50)は選手と同じユニフォームを着用すること。

7・試合開始時刻 60 分前までに試合場に到着し、直ちにオーダー表を 5 部、投球回数記録副表 3 部及び大会初戦の時は、直前大会参加報告書を大会本部に提出のうえ所定の審査を受けなければならない。

8・オーダー表交換時に両キャプテンにより、先攻、後攻をジャンケンで決める。

9・試合開始予定時刻までにチームがグランドに現れないときには、球場責任者と責任審判員が協議して没収試合を宣言することができる。

10・試合方法など

・中学生の部

(1) 各試合は 7 回戦で行い、4 回終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から 2 時間（決勝戦は 2 時間 20 分）を超えた場合、新しいイニングには入らない（後攻チームの得点が先攻チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する)。また、降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則 7.01(4)により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデットゲームとする。

(2)4 回終了時（後攻チームの得点が先攻チームの得点より多い場合は、4 回終了時）10 点差、5 回以降 7 点差の場合、コールドゲームとする。

(3)7 回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長 8 回(決勝戦は 10 回)あるいは試合開始から 2 時間(決勝戦は 2 時間 20 分)を超えては(どちらか早い方)新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。(競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照)

・小学生の部

(1)各試合は 6 回戦で行い、4 回終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から 1 時間 40 分を超えた場合、新しいイニングに入らない（後攻チームの得点が先行チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する)。また降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則 7.01(4)により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデットゲームとする。

(2)4 回以降 7 点差の場合、コールドゲームとする。

(3)6 回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長 7 回（決勝戦は 9 回）あるいは試合開始から 1 時間 40 分を超えては(どちらか早い方）新しいイニングに入らず、タイブレーク方法を実施する。(競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照)

11・(1) 中学生の部投手の投球数は、1 日最大 80 球とし、連続 2 日間で 120 球以内とする。

連続する 2 日間で 80 球を超えた場合は、3 日目は投球を禁止する。また 3 連投（連続する 3 日間）する場合は、1 日の投球数を 40 球以内とし 4 連投（連続する 4 日間）は禁止する。連続する 2 日間で 80 球を超えた投手、並びに 3 連投した投手は、登板最終日並びに翌日は捕手としても出場できない。

小学生の部投手の投球数は、1 日最大 70 球とし、連続 2 日間で 105 球以内とする。

3 連投（連続する 3 日間）は禁止とする。大会中は 1 日 70 球以内とし、翌日投球を休めば 3 日目 70 球の投球を可とする。

(2) 打席の途中で制限数に到達した場合は、当該打者の打席が終了するまでは投球を認める。その時制限数を超えた投球数はカウントしない。

(3) ボークは投球数としない。ノーゲームになった試合も投球数にカウントする。申告敬遠までの当該打者への投球数はカウントする。その他は連盟本部発行の「投球数制限ガイドライン」に基づく。

(4) 日程の変更（地区大会を含む）等で前大会と連続試合になる場合があるので、すべてのチームは「直前大会参加状況報告書」次大会の最初の試合日に、次大会主催者宛に提出しなければならない。

12・(1) 監督またはコーチの指示、伝達は 1 試合で攻撃 2 回と守備 2 回の計 4 回とする。延長またはタイブレークに入った場合は、それぞれで 1 回の指示、伝達を認める。
(選手の怪我や交代などの指示、伝達は回数に入らない。)

(2) 守備側の投手に対する指示、伝達が 3 回目となれば、自動的に投手は交代となり、その投手は他の守備位置についてもよいが、再び投手として登板することはできない。

(3) 内野手が 2 人以上投手のところに行った時も 1 回に数える。

(4) 指示、伝達は審判がタイムを宣言してから「30 秒以内」とする。

13・1 イニングで同一の投手に対して指示、伝達が 2 回目となれば、自動的に投手の交代となる。
その投手は他の守備位置に着くことができるが、同一イニングでは投手として登板することはできない。ただし、新しいイニングに入れば、再び投手として登板することができる。

14・審判員の判定に対する抗議は認めない。ただし、ルールの適用についての確認は認める。

15・監督またはコーチが投手に指示などをするときは、マウンドのところで行うこと。(ベンチからは駆け足で)

16・2 塁走者やベースコーチなどが捕手のサインを盗んで、打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。

17・ボール回しをする時は一回りとし、最終野手は、その定位置から返球する。また打者が打撃を継続中、塁上で走者がアウトになった場合のボール回しは禁止する。

18・投手は走者をアウトにする意志がないのに、無用のけん制球を繰り返すとか、または送球するまねを何度も繰り返す行為は、試合のスピーディーな進行の妨げになるため禁止する。

19・小学生の部は、攻撃側チームの監督、コーチに限りコーチスボックス内でベースコーチを務めてもよい。この場合必ず両耳付きヘルメットを着用すること。

20・各チームは同色のヘルメット 7 個以上、捕手の規定防具（マスク、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード、ファールカップ）2 組を備えること。一体型捕手マスクの場合はヘルメット、スロートガードを除く。

21・ユニフォーム、バット、スパイク、グラブ等は連盟指定業者のものに限る。

22・捕手は必ずヘルメットならびに規定防具を試合、練習を問わず着用すること。

23・グランドの都合で大会トーナメント規定が別に制定された場合は、それに従うこと。

24・ベンチ内での携帯電話の使用を禁止する。

25・光化学スモッグ発生の場合は、試合及び選手に対する措置は別に定め、運営委員の指示に従う。

26・試合前のシートノックは原則として 5 分間行うが、当該球場のグラウンド状況や試合終了時間を勘案してシートノックを行うか否かは球場責任者が決定するものとする。

27・守備側のチームの監督は球審に敬遠の意思を伝えると投手が投球することなく対戦打者を四球にすることができる（申告敬遠)。

参考

野球規則 7.01(4)

7.02(a)によりサスペンデッドゲームにならない限り、コールドゲームは、球審が打ち切りを命じた時に終了し、その勝敗はその際の両チームの総得点により決する。

【注】我が国では、正式試合となった後のある回の途中で球審がコールドゲームを宣したとき、次に該当する場合は、サスペンデッドゲームとしないで、両チームが完了した最終均等回の総得点でその試合の勝敗を決することとする。

(1)ビジティングチームがその回の表で得点してホームチームの得点と等しくなったが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まってもホームチームが得点しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

(2)ビジティングチームがその回の表でリードを奪う得点を記録したが、表の攻撃が終わらないうち又は表の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってもホームチームが同点かたはリードを奪い返す得点を記録しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

《タイブレーク実施細則》

（1）特別規則

(イ) 中学生の部は延長 8 回あるいは試合開始から 2 時間を超えて（いずれか早い方）決勝戦は 10 回あるいは 2 時間 20 分を超えて(いずれか早い方)、決勝戦は 9 回あるいは 2 時間 00 分を超えて(いずれか早い方)両チームの得点が等しい時は以降の回の攻撃は、一死走者満塁の状態から行うものとする。

(ロ) 打者は、前回正規に打撃を完了した打者の次の打者の者とする。
(ハ) この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打者が二塁走者、そして二塁走者の前の打者の者が三塁走者となる。
(二) この場合の代打および代走は認められる。

（2）チームおよび個人の記録

チームおよび個人の記録は公式記録とするが、如何に掲げる事項に留意すること。

（イ） 投手記録

・規定により出塁した 3 走者は、投手の自責点とはしない。
・完全試合は認めない。
・無安打・無得点試合は認める。

（ロ） 打撃成績

・規定により出塁した 3 走者の出塁の記録はないものとする。ただし、盗塁、盗塁刺、得点、残塁などは記録する。
・規定により出塁した 3 走者を絡めた打点、併殺打などはすべて記録とする。

【AED 所持の確認】

・選手審査時にチームは AED を所持していることを確認すること。

2023 年 5 月 8 日
（公財）日本少年野球連盟

新型コロナウィルス感染防止対策（5類移行） ガイドライン

（2023.5.8改訂版）

《ガイドラインの目的》

新型コロナウィルス（以下、「コロナ」という。）は、5類移行後もウィルス自体は弱毒化しておらず、高齢者やがん患者・腎炎等の基礎疾患を持っている方は、今後も重症化やフレイル死亡（衰弱死等）のリスクがあり、その死亡率は、30歳成人の60歳～80歳では25倍～71倍とされており、若年層でもブレインフォグ（うつ病等）の後遺症に悩まされている病気である。

したがって、ドーム球場などの一部の施設では感染対策が求められており、当連盟としても活動に対して社会的責務があり、今後とも感染対策を取りつつ子どもたちにのびのびと野球をできる環境を提供する責務から、コロナの5類移行後も改訂した本ガイドラインを遵守する事とする。

1.ボーイズリーグの活動における基本注意事項（以下、「基本事項」という。）

（1）活動参加に際して

①選手・指導者・保護者等・役員等すべての関係者は、当日の体温を測り、熱・風邪 症状（喉痛、咳、痰、呼吸症状）等の体調に異常がある場合は参加不可とする

②感染拡大期はもとより、活動への参加を強制するのではなく、選手の保護者から同意をとり、チームとして常日ごろから活動への参加の意思を確認すること

（2）マスク着用について

①マスク着用は原則、個人の判断に委ねる

②バス、車移動の場合は、車内で騒がず、換気をすること。
換気が難しい場合はマスクを着用すること

（3）屋内での活動について

密にならないように注意し換気すること

（4）昼食等飲食時の注意

飲食する場合は、以下を遵守すること

①食事前等に手洗い、手指消毒すること

②保護者等が選手に密着して配膳する場合は、保護者はマスク着用が望ましい

（5）手洗い、消毒の慣行

活動の際には、こまめな手洗い・手指消毒と使用後の備品の消毒などの慣行をチームとして意識すること

（6）備品・消耗品の常備

チームは手指用消毒薬、備品用消毒薬、石鹸、体温計、ペーパータオル等を常備すること

（7）活動参加者の把握（チーム内での感染拡大防止のため）

チーム責任者は、活動における参加者を「新型コロナウィルス感染症対策当日参加名簿」等で管理し把握しておくこと。大会の主催者は、感染等が疑われる場合など必要に応じて、チームに対してチームで管理している「新型コロナウィルス感染症対策当日参加名簿」等の提出を求めることができる

（8）感染拡大期等の措置について

①選手・フロント・指導者・保護者のチーム関係者の中で同一学級や会社などの所属するグループ内でコロナ感染が広がっている場合は、その当事者は体調管理を強化し、咽頭痛等の症状が出た場合は必ず休みをとりチーム活動に参加しないこと。症状がない場合でもチーム活動内でのマスク着用を義務付け、密にならない、黙食などのこれまでの基本的な感染防止の徹底により、チーム内での感染拡大を防止する措置を設けること

②社会全体で感染爆発が起こっている時期は、改めて旧のガイドライン等の措置をとる場合がある

2.主催大会、地区大会の注意事項

（1）大会開会式、閉会式について

①開催会場の了承が必要であり、会場の規則を遵守したうえで開催すること

（2）大会運営について

①室内本部は、当面マスクを着用の上、必要最低限の者で運営し、換気を行ない、できるだけ密を避けること

②球場責任者は、開催会場の規則等にしたがい、各担当者を配置して、感染対策に努め、消毒液・手洗い用、ハンドソープ等を設置すること（本部席、ベンチ、トイレ等）

③各チームは試合開始1時間前に大会本部に到着すること

④各チームは、大会会場に到着後、チーム責任者が登録役員・選手名簿、オーダー表、「投手投球数記録表」を本部受付に提出すること

⑤チーム責任者は1.－（1）に基づき、会場到着前後には、「新型コロナウィルス感染症対策当日参加名簿」等により、保護者含む大会参加者全員の体温等の体調を確認・管理し、当日、発熱等の体調不良者がある場合は、直ちに帰宅させること。球場責任者等から上述の管理している参加者名簿の提示を求められた場合、速やかに大会本部または連盟・支部等に提出できる体制をとること

⑥試合前審査は、「大会運用細則」に従い、前試合の4回終了までに整列して行う
⑦但し、選手は氏名、生年月日を発声しない。球場運営責任者が指導者などに「基本事項」等を説明・確認すること
⑧球場入場時に大会本部役員は、チーム責任者に対して、チームの大会参加者に対しての注意事項を伝達し、全員にアルコール消毒を実施するよう指導する
⑨試合中は、チーム責任者は「基本事項」等の本ガイドラインで定めている感染対策についてチーム内で徹底させること（観戦保護者等含む）
⑩試合終了後は密を避けるために速やかに会場から解散すること
⑪接待・運営は密を避けて行うこと
⑫飲料等については、配膳する前に手洗い・消毒し、感染防止に配慮した使い捨て容器の使用を推奨する。使い捨て以外の食器等は合成洗剤で必ず洗浄することで接触感染を防ぐこと
⑬その他細目については、大会主催者が本ガイドラインの趣旨に基づき大会運営細目等を別途定めて大会を運営する

3.遠征・合宿等、入部歓迎会・卒部式・祝勝会等の行事について

行事等について、特に措置や制限は設けないが、以下に留意して実施すること

（1）行事開催について

①ブロック行事については、ブロック長が責任を持って安心・安全を確保して実施する
②支部行事については、支部長が責任を持って安心・安全を確保して実施する
③チーム行事については、チーム代表が責任を持って安心・安全を確保して実施する

（2）練習試合・遠征について

練習試合は、特に相手チームとの交流については「基本事項」を遵守すること

（3）入部歓迎会・卒部式・祝勝会・新年会等について

チーム行事については、チーム代表が責任を持って安心・安全を確保して実施する

（4）チーム行事等でのチーム内感染拡大の防止について

基本事項1－（8）－①の状況がある場合、連名・ブロック・支部やチーム責任者等は、基本事項1－（8）－①に沿って、当事者に行事への不参加を命じ、参加できる場合は、マスク等の義務等の措置をとること

4.チーム内で感染者が出た場合の対応・対策について

(1)選手・指導者及び同居家族が陽性となった場合

①選手・指導者及び同居家族が陽性となった場合は、必ずチームに報告すること(普段からチーム内で連絡徹底を指導)

②陽性者は症状出現から5日間はチーム活動への参加を禁止する。また、5日経っても発熱が続く場合は保健所、医師等の指示に従うこと。その指示についてはチームへ報告し、参加については、チーム責任者の確認が必要である

③陽性患者の家族やマスクなしで密接に関わったものなど、いわゆる濃厚接触者は、感染症対策法上の定義はなくなるが、引き続き、体調管理に気をつけ、チーム活動ではマスク着用を義務付け、咽頭痛等の症状が出た場合は、チーム活動を欠席すること

④チーム責任者はチーム内で徹底するよう説明し、常に指導すること

(2)大会期間中の連盟等報告について

①大会期間中に参加しているチーム関係者に陽性者が判明した場合は、当該チームの代表者は、速やかに大会運営本部及び支部長を通じてブロック長に報告すること

②大会主催者は、本通達の「基本事項」に照らして感染拡大の恐れがあり、なおかつ、陽性患者と濃厚に接触した重病リスクの高い者がチーム等大会関係者に複数人いると判断した場合は、直ちに大会を中止・延期にするか、または、当該チームと対戦・接触したチームに対する出場辞退等を検討する

③報告を受けたブロック長が感染拡大の恐れが高いと判断した場合は上記によらず連盟本部と協議の上、中止・延期等の決定ができることとする。また、連盟主催の大会においては、これを会長が判断する

以上、本ガイドラインを遵守した上でボーイズリーグの活動に努めることとしまた、各大会主催者は感染状況に応じ 大会時に感染リスクを下げるために感染対策を付加することが出来る_

Road to Championship

第 23 回 SSK 旗争奪大会兼第 54 回日本少年野球選手権大会支部予選　小学部　対戦表

日程：2023 年 6 月 10 日（予備　6 月 11 日）

場所：稲沢中央ボーイズ専用グラウンド

グラウンド担当：稲沢中央ボーイズ

	1.東海・春日井合同ボーイズ	2.稲沢中央ボーイズ	3. 名古屋東ボーイズ
1.東海・春日井合同ボーイズ		第一試合 10:00	第二試合 12:00
2.稲沢中央ボーイズ			第三試合 14:00
3. 名古屋東ボーイズ			

試合時間：1 時間 40 分

コールドゲーム：適用

順位決定について

⇒　２勝したチーム　⇒優勝（選手権大会出場）

⇒　3 チーム 1 勝 1 敗の場合、次の優先順位で優勝を決める

① 第一優先:失点の少なかったチーム

② 第二優先:得点の多かったチーム

③ 上記①②で決まらなければ抽選を行う

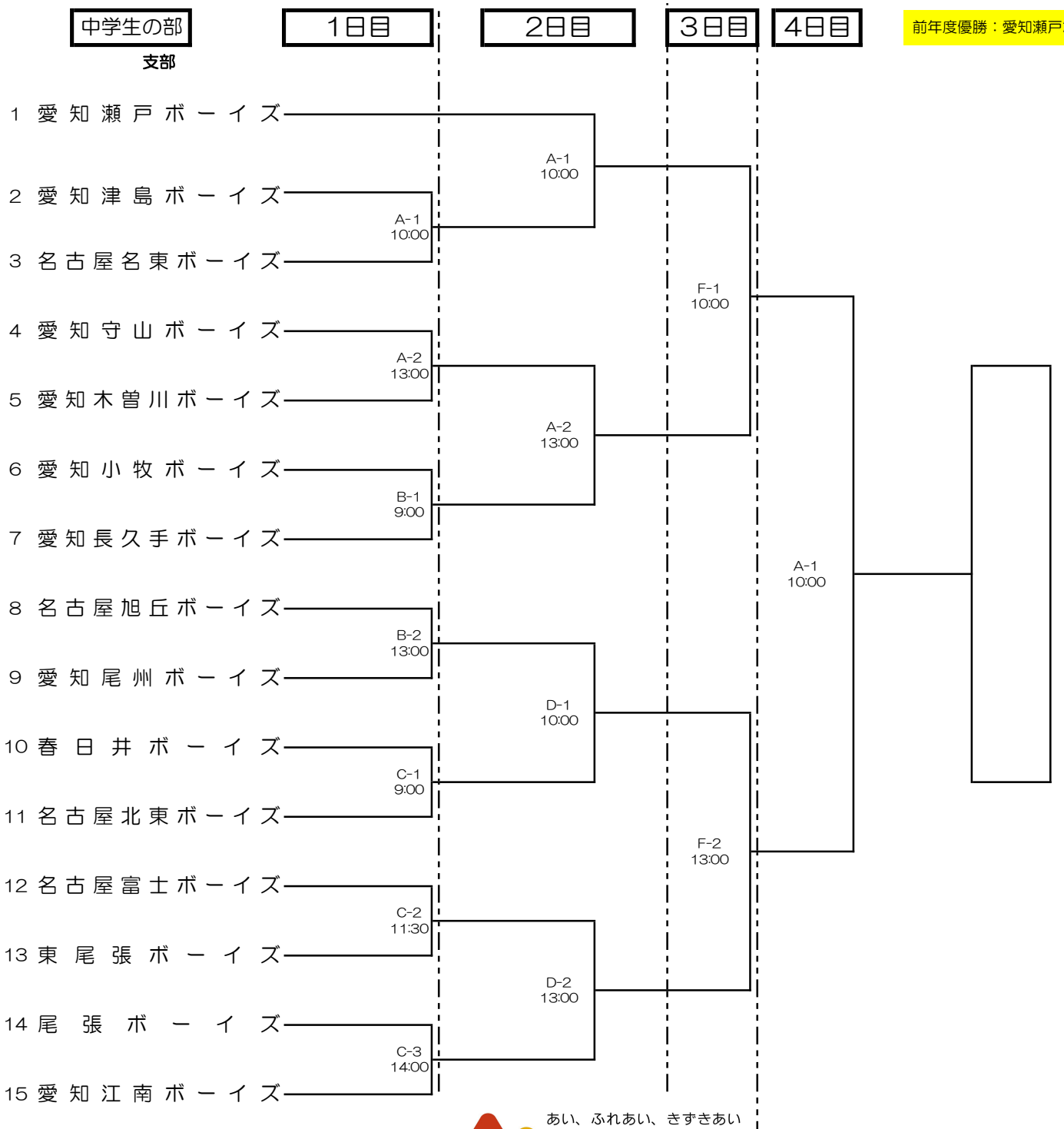
あい、ふれあい、きずきあい
愛知銀行

公益財団法人日本少年野球連盟　ボーイズリーグ

第23回SSK旗争奪大会兼第54回日本少年野球選手権大会支部予選

1日目	2023年6月3日（土）	A 球場 B 球場 C 球場 予備	◎ 森林公園第1野球場 中京大中京高校グランド プリニーの野球場 森林公園第2野球場	愛知瀬戸ボーイズ 愛知小牧ボーイズ 愛知江南ボーイズ
開会式は開催なし				
2日目	2023年6月4日（日）	A 球場 D 球場 予備 球場	◎ 森林公園第1野球場 森林公園第2野球場 県営一宮運動公園	愛知瀬戸ボーイズ B-2勝ち上りチーム
3日目	2023年6月10日（土）	F 球場 予備 球場	◎ 一宮市営平島球場 県営一宮運動公園	愛知瀬戸ボーイズ
4日目	2023年6月11日（日）	A 球場 予備 球場	◎ 森林公園第1野球場 森林公園第2野球場	愛知瀬戸ボーイズ
予備日	2023年6月17日（土）	球場	未定	

前年度優勝：愛知瀬戸ボーイズ



あい、ふれあい、きずきあい
愛知銀行

最終更新日：2023/5/28

【小学生の部】

東海･春日井合同ボーイズ

代表		加藤　剛司	
監督		志賀　裕一	
コーチ		縄田　秀樹	
マネージャー		今井　悌仁	
26	主将	今井　柏太	6年
0		中島　駿龍	6年
2		澤野　晴	6年
3		山本　朔	6年
6		吉川　拳矢	6年
7		休石　隼翔	6年
9		松井　廉	3年
10		片田　千教	5年
17		佐藤　優	4年
18		小澤　后都	3年
21		開米　悠生	3年
24		松井　慶	6年
25		開米　統生	5年
44		田中 ランディ	3年

稲沢中央ボーイズ

代表		林　透	
監督		長尾　実	
コーチ		伊藤　文博	
マネージャー		石田　侑靖	
24	主将	森　脩朔	6年
1		山田　大智	5年
2		渡邊　春駆	6年
4		木全　裕信	5年
6		大隈　楓莉	5年
7		和手　脩朗	6年
9		佐藤　湊	5年
11		浅野　翔星	6年
14		加藤　翔太郎	5年
15		林　柚杏飛	6年
17		北島　才己	6年
18		西脇　彪真	6年
20		堀場　梁源	5年
21		葛西　新	5年
33		後藤　蓮旺	5年
51		塚松　龍青	6年
54		腰山　潤人	5年
88		吉田　楓茉	6年

名古屋東ボーイズ

代表		清水　英史	
監督		長尾　文博	
コーチ		稲本　俊行	
マネージャー		上田　美智子	
3	主将	藤井　隆貴	6年
1		岡本　蒼生	2年
5		橋本　陣之右	5年
6		伊藤　悠羽	6年
7		新垣　来道	6年
8		日野原　櫂	4年
9		鵜飼　惇生	5年
11		清水　謙心	6年
18		上田　陸人	6年
21		福永　皓天	4年
27		河原崎　鴻平	4年
51		笠原　帆高	5年

【中学生の部】

愛知瀬戸ボーイズ

代表		大野　工太	
監督		鈴木　正秀	
コーチ		栗山　嘉孝	
マネージャー		水野　奈帆	
10	主将	水野　優帆	3年
1		青山　獅王	2年
2		山内　佑峰	2年
3		柘植　海史	3年
4		前田　泰芯	3年
5		藤田　夏海	3年
6		磯金　海里	2年
7		小西　亮輔	3年
8		秋山　優太	3年
9		岩田　佳大	2年
11		工藤　右京	3年
12		安田　瑛太	2年
13		大峠　篤弘	2年
14		林　稔貴	2年
15		水野　太聖	2年
16		倉橋　来渡	2年
17		小山内　丈晃	2年
18		中野　元太	2年
19		工藤　左門	3年
20		山田　将璃	2年
21		徳永　雄干	3年
22		武井　元	2年
23		鵜飼　大獅	1年
24		山田　悠翔	3年
25		稲垣　海斗	3年

愛知津島ボーイズ

代表		山岸　昌弘	
監督		国森　由剛	
コーチ		池田　祐城	
マネージャー		上村　隼大	
4	主将	横井　仁賢	3年
1		皆川　瑛翔	3年
2		藤田　大翔	3年
3		横井　征有	2年
5		杉原　拓斗	3年
6		崎原　琉兵	3年
7		谷口　ジョンハリー	3年
8		岩田　竜之介	3年
9		大岩　瑞生	3年
10		伊藤　優汰	3年
11		佐々木　渉	3年
12		佐藤　優斗	2年
13		松﨑　青空	3年
14		片山　智尊	3年
15		永井　蓮人	2年
16		下間　慶寿	2年
17		藤島　琉樹也	2年
18		渡部　瑛心	2年
19		皆川　璃緒	2年
20		菱田　陽星	2年

名古屋名東ボーイズ

代表		平木　雅之	
監督		竹村　和久	
コーチ		岸田　幸三	
マネージャー		永田　耕規	
25	主将	小野田　嵩琉	3年
0		大塚　健太	2年
1		鈴木　駿太朗	2年
4		鈴木　蒼波	2年
5		名久井　大輝	3年
6		平泉　大悟	3年
7		井上　零生	3年
8		水野　心翔	3年
9		石田　悠太	3年
10		船木　結太	3年
11		山﨑　輝真	3年
14		外筬　遼太	3年
16		末永　紘士	3年
17		東井　一真	2年
18		吉田　宗太郎	3年
19		久野　直翔	3年
20		井澤　一翔	2年
21		越野　太喜	2年
23		深谷　航大	2年
24		深田　功成	2年
26		清水　悠成	2年
27		川原　柊真	3年
51		織戸　竜哉	2年
99		山田　倖大	2年

愛知守山ボーイズ

代表		池田　一成	
監督		鈴木　賢一	
コーチ		田中　文康	
マネージャー		箕浦　昌俊	
5	主将	和辻　凌空	3年
1		仁禮　パスカルJr	3年
2		鈴木　翔太	3年
3		森　慎太郎	3年
4		箕浦　圭駿	3年
6		石川　湊汰	3年
7		小島　流生	3年
8		松本　倫太郎	3年
9		杉浦　立旺	3年
10		前田　龍飛	3年
11		芦沢　飛空	3年
12		穂積　俊介	3年
13		寺澤　空音	2年
14		安藤　寛太	2年
15		太田　貫太	3年
16		岩橋　興世	2年
17		鈴木　優吾	2年
18		三浦　陽遊	2年
19		吉田　丈竜	2年

愛知木曽川ボーイズ

代表		大迫　英紀	
監督		鈴木　俊雄	
コーチ		森　裕幸	
マネージャー		青木　新介	
17	主将	松原　劉空	3年
2		澤　惇平	3年
4		上野　琥太郎	3年
5		佐橋　汰盛	3年
7		森　敦輝	3年
9		栗山　銀一郎	3年
10		石原　巧巳	3年
11		落合　悠貴	3年
14		角田　暁	3年
16		篠田　舜	3年
18		山田　環太	3年
20		内海　将大	3年
23		高須　翔己	2年
24		長倉　海祇	3年
25		村田　大和	2年
32		桐谷　奏佑	2年
33		坪井　春樹	3年
36		馬見新　吏偉	3年
43		中村　春貴	2年
47		大園　将太	3年
55		脇田　佑埜	3年
56		矢島　陸翔	3年
66		鈴木　日向	3年
70		川出　湊真	2年
88		小栗　快人	2年

愛知小牧ボーイズ

代表		服部　誠	
監督		水野　哲也	
コーチ		木下　英二	
マネージャー		岩切　利仁	
55	主将	板津　心一朗	3年
0		廣瀬　結翔	2年
1		大塚　達貴	2年
2		渡邉　竜翔	2年
3		小川　夢斗	2年
5		大池　桔平	2年
6		祖父江　勇斗	2年
7		加藤　響	2年
8		長谷川　彪	2年
11		中島　脩真	2年
12		藤代　悠右	2年
18		滝　一瑳	2年
25		大家　蒼士	2年
30		島田　蓮音	2年
31		才穂　永耀	2年
32		吉冨　恵一朗	2年
33		小澤　尊	2年
34		内山　煌斗	2年
51		堀　琥太郎	2年
56		上野　眞汰	2年
99		水野　束紗	2年

愛知長久手ボーイズ

代表		小林　正俊	
監督		赤間　大輝	
コーチ		浅井　実	
マネージャー		稲田　兄生	
0	主将	村瀬　将斗	3年
2		中村　唯人	3年
3		西野　裕貴	2年
4		岡本　一蕗	2年
5		高野　晃志	3年
7		川口　裕輝	3年
8		小栗　大和	2年
9		古川　隼士	2年
10		池口　惺	3年
13		中尾　友紗希	3年
18		細川　陽平	2年
21		荒木　琢哉	3年
23		牛腸　篤紀	2年
30		小川　巧	3年
31		山田　麗央	2年
33		坪内　瑛汰	3年
35		酒井　煌太	3年
40		加藤　玄暉	3年
41		近田　満琉	3年
44		小嶋　健太郎	3年
55		勝濱　大地	2年
77		吉名　雫	3年
88		柘植　謙信	3年
99		森田　敬	3年

名古屋旭丘ボーイズ

代表		澤中　渉	
監督		虫賀　千修	
コーチ		滝本　雅晴	
マネージャー		佐々木　敦司	
52	主将	鈴木　大梧	3年
1		氏橋　竣	2年
2		佐藤　壮	3年
3		熊崎　陽斗	2年
4		落合　健翔	2年
5		勝田　燎	2年
7		亀谷　祐和	3年
8		藤井　力斗	3年
9		籠　勇人	2年
10		堀　日向	2年
11		寺島　豪健	3年
13		山本　蒼汰	2年
15		高井　駿	3年
16		奥村　康生	2年
17		山田　禪	3年
21		田口　虹太朗	2年
22		木原　大智	3年
24		後藤　大和	3年
25		舟津　悠輝	2年
27		河原崎　啓登	3年
29		矢野　颯一朗	2年
34		後藤　大我	3年
38		成瀬　壮輝	2年
44		土岐　将太	3年

愛知尾州ボーイズ

代表		内藤　邦将	
監督		藤川　正樹	
コーチ		筏井　知良	
マネージャー		小松　正義	
3	主将	佐藤　類	3年
4		川井　佑真	2年
7		森迫　煌斗	3年
8		山下　奏汰	2年
10		伊藤　嵩真	3年
11		池戸　遥登	3年
12		戸髙　眞	3年
13		小林　大雅	2年
19		矢作　健太	3年
21		橋本　彪輝	2年
22		杉村　空飛	3年
23		竹島　漣	3年
24		新井　堅心	3年
27		奥村　皇汰	3年
28		島田　耀	2年
32		山本　寿希也	2年
41		土橋　颯斗	2年
48		鵜飼　友貴	3年
53		早川　湊	2年
54		朝倉　陸	2年
61		杉山　弦太	2年
65		平松　孝之助	3年
72		西川　一咲	3年
82		平野　光樹	2年
90		長崎　匠真	2年

春日井ボーイズ

代表		窪園　三郎	
監督		澤野　肇	
コーチ		三浦　浩	
マネージャー		坂下　隆一	
9	主将	武藤　駿輝	3年
1		尾下　潤成	3年
2		寺澤　輔	3年
3		塚本　龍海	3年
4		山口　諒馬	3年
5		佐藤　圭志朗	3年
6		瀬口　恭平	3年
7		日比　啓翔	3年
8		今井　希信	3年
10		小野　陸翔	3年
11		佐藤　睦哲	3年
12		谷口　隼	3年
13		渡邉　龍哉	3年
14		岡　泰成	3年
16		今村　駿斗	3年
17		石田　一慧	3年
18		田淵　多真	3年
19		山田　琉也	3年
20		浅野　桃夢	3年
21		渡辺　誠真	3年
22		井戸　颯人	3年
23		長江　健三	3年
24		山田　壮哉	3年
31		木村　一耀	2年
33		塚本　獅丸	2年

名古屋北東ボーイズ

代表		林日出夫	
監督		牧田　勉	
コーチ		富田　雄一	
マネージャー		白馬　太郎	
66	主将	山田　敦也	3年
3		髙木　雅弘	3年
4		補陀　契心	3年
9		井上　大輔	3年
14		横田　鉄伸	3年
18		青山　翔流	3年
19		阿部　太智	3年
20		木下　央介	2年
21		丹野　碧斗	2年
23		伊藤　舜太	2年
24		小島　悠太	3年
26		竹延　知哉	3年
29		山内　瑛太	3年
32		山口修史朗	3年
36		大槻　兼士	2年
41		中島　琉弥	3年
55		森河　音倭	2年
56		岡本　歩大	2年
81		小澤　玄	2年

名古屋富士ボーイズ

代表		玉置　正樹	
監督		青山　富弘	
コーチ		川上　忠	
マネージャー		加藤　飛龍	
17	主将	杉浦　健真	3年
4		白川　葵己	3年
7		笠井　敬太	3年
13		三鍋　大心	3年
18		加藤　嶺乙	3年
21		山﨑　智貴	3年
23		中村　彪真	3年
27		今村　祐星	3年
31		浅井　颯太	3年
32		杉山　竜司	3年
33		加賀　斗耶	3年
36		河井　優翔	3年
51		宮廻　武虎	3年

東尾張ボーイズ

代表		前島康典	
監督		山下浩一	
コーチ		斎藤真一	
マネージャー		田中和成	
17	主将	小河壮真	3年
1		田中寛之	3年
2		森田一真	3年
3		小川翔大	3年
4		渡部匠	3年
5		前原凛太朗	3年
6		鈴木雄介	3年
7		松澤虎雅	3年
8		水野誠生	3年
9		西脇駆	3年
11		望月慶太	3年
12		川原広太郎	3年
13		山口駿翔	3年
14		丹羽孝介	3年
15		西田羽大	3年
16		高桑陽	3年
18		前田将弥	3年
20		岩田健蔵	3年
21		前田一輝	3年
22		大澤風汰	3年
23		武藤湧真	3年
30		大村涼太	2年
31		矢田裕之	2年
39		吉田壮太	2年
42		山北悠人	2年

尾張ボーイズ

代表		髙木 哲也	
監督		小林 俊哉	
コーチ		松本 茂樹	
マネージャー		後藤 久司	
6	主将	坂本 康希	3年
0		鈴木 惟莉亜	3年
1		武田 尚真	3年
3		大高 拓海	3年
7		竹内 壮	3年
8		成瀬 蒼琉	3年
9		浅野 塁	3年
11		藤澤 秋哉	3年
15		内藤 蒼	3年
16		大高 克海	3年
18		中西 啓太	3年
20		山田 晄聖	3年
21		古川 虎侑	3年
23		松尾 心音	3年
24		阿南 大雅	3年
25		富田 悠瑚	3年
27		山田 悠稀	3年
29		谷口 翔梧	3年
31		工藤 聖也	3年
32		松本 塁	3年
35		比嘉 玲	3年
43		村木 友哉	3年
55		西山 幸我	2年
62		富倉 颯大	2年

愛知江南ボーイズ

代表		住藤 重光	
監督		縄田 武志	
コーチ		森 哲也	
マネージャー		山下 佳宏	
6	主将	森 柾景	3年
1		栢本 実那人	3年
2		長屋 瑛大	3年
3		山下 響也	3年
4		吉田 藍士	3年
5		川口 拓真	3年
7		冨成 貫太	3年
8		石川 歩夢	2年
9		渡邉 旬道	3年
10		山中 柊平	3年
11		宮瀬 晴基	3年
12		松山 太輔	3年
13		浅野 祐陽	3年
14		渡邉 成道	3年
15		岩田 憲大	2年
16		長縄 亮助	2年
17		宇野 煌盛	2年
18		大西 悠斗	2年
19		髙田 凱都	2年
20		水野 翔斗	2年

エスエスケイ旗争奪大会優勝・準優勝チーム

第 1 回	中学生の部	優 勝	東海チャレンジャー	準優勝	春日井ボーイズ
（平成13年	小学生の部	優 勝	東海チャレンジャー	準優勝	尾張ウィングス
第 2 回	中学生の部	優 勝	名古屋フレンズ	準優勝	名古屋ファイターズ
（平成14年	小学生の部	優 勝	中京エンペラー	準優勝	東海チャレンジャー
第 3 回	中学生の部	優 勝	名古屋フレンズ	準優勝	東名古屋スターズ
（平成15年	小学生の部	優 勝	東海チャレンジャー	準優勝	小牧中京ボーイズ
第 4 回	中学生の部	優 勝	東海チャレンジャー	準優勝	名古屋フレンズ
（平成16年	小学生の部	優 勝	中京エンペラー	準優勝	尾張ウィングス
第 5 回	中学生の部	優 勝	春日井ボーイズ	準優勝	小牧中京ボーイズ
（平成17年	小学生の部	優 勝	尾張ウィングス	準優勝	東海チャレンジャー
第 6 回	中学生の部	優 勝	名古屋フレンズ	準優勝	愛知知多ボーイズ
（平成18年	小学生の部	優 勝	中京エンペラー	準優勝	名古屋ファイターズ
第 7 回	中学生の部	優 勝	刈谷セントラルボーイズ	準優勝	尾張ウィングス
（平成19年	小学生の部	優 勝	尾張ウィングス	準優勝	東海チャレンジャー
第 8 回	中学生の部	優 勝	中京エンペラー	準優勝	刈谷セントラルボーイズ
（平成20年	小学生の部	優 勝	春日井ボーイズ	準優勝	東海チャレンジャー
第 9 回	中学生の部	優 勝	春日井ボーイズ	準優勝	三好東郷ボーイズ
（平成21年	小学生の部	優 勝	東海チャレンジャーボーイズ	準優勝	中京エンペラーボーイズ
第１０回	中学生の部	優 勝	愛知知多ボーイズ	準優勝	愛知江南ボーイズ
（平成22年	小学生の部	優 勝	東海チャレンジャーボーイズ	準優勝	中京エンペラーボーイズ
第１１回	中学生の部	優 勝	愛知知多ボーイズ	準優勝	東海チャレンジャーボーイズ
（平成23年	小学生の部	優 勝	東海チャレンジャーボーイズ	準優勝	中京エンペラーボーイズ
第１２回	中学生の部	優 勝	愛知瀬戸ボーイズ	準優勝	尾張ウイングボーイズ
（平成24年	小学生の部	優 勝	名古屋TLCボーイズ	準優勝	東海チャレンジャーボーイズ
第１３回	中学生の部	優 勝	愛知尾州ボーイズ	準優勝	名古屋富士ボーイズ
（平成25年	小学生の部	優 勝	尾張稲沢ボーイズ	準優勝	名古屋東ボーイズ
第１４回	中学生の部	優 勝	愛知尾州ボーイズ	準優勝	東海ボーイズ
（平成26年	小学生の部	優 勝	東海ボーイズ	準優勝	中京ボーイズ
第１５回	中学生の部	優 勝	愛知尾州ボーイズ	準優勝	東海ボーイズ
（平成27年	小学生の部	優 勝	春日井ボーイズ	準優勝	東海ボーイズ
第１６回	中学生の部	優 勝	東海ボーイズ	準優勝	春日井ボーイズ
（平成28年	小学生の部	優 勝	東海ボーイズ	準優勝	春日井ボーイズ
第１７回	中学生の部	優 勝	愛知瀬戸ボーイズ	準優勝	愛知知多ボーイズ
（平成29年	小学生の部	優 勝	東海ボーイズ	準優勝	稲沢中央ボーイズ
第１８回	中学生の部	優 勝	東海中央ボーイズ	準優勝	愛知小牧ボーイズ
（平成30年）	小学生の部	優 勝	東海ボーイズ	準優勝	春日井ボーイズ
第１９回	中学生の部	優 勝	名古屋富士ボーイズ	準優勝	愛知小牧ボーイズ
（令和元年）	小学生の部	優 勝	春日井ボーイズ	準優勝	稲沢中央ボーイズ
第２０回	中学生の部	優 勝	愛知尾州ボーイズ	準優勝	愛知木曽川ボーイズ
（令和2年）	小学生の部	優 勝	稲沢中央ボーイズ	準優勝	東海ボーイズ
第２１回	中学生の部	優 勝	愛知尾州ボーイズ	準優勝	愛知木曽川ボーイズ
（令和3年）	小学生の部	優 勝	春日井ボーイズ	準優勝	稲沢中央ボーイズ
第２２回	中学生の部	優 勝	愛知瀬戸ボーイズ	準優勝	愛知尾州ボーイズ
（令和4年）	小学生の部	優 勝	東海・春日井合同ボーイズ	準優勝	稲沢中央ボーイズ
第２３回	中学生の部	優 勝		準優勝	
（令和5年）	小学生の部	優 勝		準優勝	

SSK

株式会社 エスエスケイ　お客様相談室　0120-50-7789（月）～（金）午前9:30～午後5:30（祝日を除く）